

令和6年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

青森県

行 事 名 称	第71回文化財防火デー
実施期間・日時	令和7年1月24日(金) 10:00
実 施 場 所	常楽寺(青森県むつ市大湊上町13-6)
主 催 者	下北地域広域行政事務組合消防本部(管轄:大湊消防署)、むつ市教育委員会

■実施内容

訓練の想定

寺の本堂より出火。周辺に延焼する恐れがあると想定。

訓練の内容

常楽寺関係者による火災発見、通報、初期消火訓練。消防署、消防団による放水、中継送水、文化財(模擬)搬出訓練。

参加者及び役割分担

常楽寺関係者(4名):119番通報 消防本部(3名):講評 大湊消防署(13名):部隊統括、放水訓練、文化財搬出
大湊消防団(13名):放水訓練、中継送水訓練 むつ市教育委員会(3名):初期消火訓練、現場立会

特に工夫した点

文化財搬出訓練では、指定品は取り扱わないものの、木彫りの地藏菩薩像を実際に搬出し、より実情に近づけた形の訓練とした。

問題点・課題

訓練ではあくまで模擬像を扱うため、実物の重さを把握している署員がおらず、また実際に搬出する際に障害となる周辺の状況の確認も必要。今回は訓練後、当寺の火災予防査察を実施した際に、担当署員の一人が実際に重さを把握したり、ルートを確認したりした。今後も定期的に同様の確認を行う必要がある。

その他

今回の訓練を近隣の幼稚園児が見学に来ていた。文化財保護や防災意識の啓蒙の点で、子ども達に参加、見学してもらうのは効果的であり、今後も子ども達の参加等、検討していきたい。

訓練風景

